

6月3日（月）

「最近あった良い話」

校長 杉浦 芳則

おはようございます。

今日は、真弓商店会の栗原さんから頂いた「文京区商連ニュース」に載っていた「最近あったいいお話」を皆さんに紹介します。

『バイクが通学路を右折しようとしているとき、児童が横断歩道を渡っていました。当然の事でバイクは渡りきるまで止まって待ちます。渡り終えた児童は帽子を取り「ありがとうございました。」と元気な声で言って、きちんと頭を下げて帰っていきました。また、ある児童（小学3年生）の御祖母様が亡くなりスクールガードをされている方がお通夜に行き、翌々日児童が登校する際、スクールガードの方に「ありがとうございました」とお礼を言ったそうです。親から、会ったらお礼を言いなさいと言われていたとしても口に出すことがなかなか難しいような気がしますが、その子はちゃんと言えました。もう一つは最近ではなく何年か前ですが、近所の神社で豆まきが行われ終わったときに、集まっている子供の中から一人「ありがとうございました。」と大きな声が聞こえ清々しい気分になったことを覚えております。』というお話でした。とてもいいお話ですね。校長先生も運動会の前日に保護者の方々や学校支援の方々と一緒に校庭の掃除をしていたとき、5年生、6年生の人たちから「ありがとうございます。」という言葉を見ました。本郷小学校のみんなが、どんなときも、誰にでも、挨拶やお礼の言葉を言えるようになるととてもうれしいです。